

Japan Internet of Things Ecosystem and Trends (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Internet of Things Ecosystem and Trends (Japanese Version)」は日本国内の Internet of Things (IoT) 市場のエコシステムとビジネストレンドに関する分析を行います。このサービスの利用を通じて IT ベンダー様、ハードウェア/ソフトウェアベンダー様、通信事業者様など、IoT に関わる様々なプレーヤー様のビジネス戦略策定に貢献します。2019 年は IoT のユースケース (用途) 別の市場調査や「データエコシステム/Data as a Service」の調査をより一層強化しています。

Markets and Subjects Analyzed

- 国内 IoT 市場の成長性
- 国内 IoT 市場のベンダーの協業/競合動向
- 国内 IoT 市場の産業分野別/ユースケース別の投資動向
- 国内 IoT 市場の企業ユーザー利用動向
- 国内 IoT 市場におけるデータエコシステム/Data as a Service の動向

Core Research

- 国内 IoT 市場 テクノロジー要素別成長性分析
- 国内 IoT 市場 ベンダーの協業/競合分析
- 国内 IoT 市場 産業分野別/ユースケース別の支出動向分析
- 国内 IoT 市場 企業ユーザー利用動向分析
- 国内 IoT 市場のデータエコシステム/Data as a Service 動向分析
- IDC FutureScape: Worldwide IoT 2019 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Internet of Things Ecosystem and Trends \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- 国内 IoT 市場の規模および今後の成長スピードはどの程度か?
- 国内 IoT 市場のベンダーの協業/競争状況はどうなっているのか?
- 国内 IoT 市場に対する産業分野別/ユースケース別の投資動向はどうなっているのか?
- 国内企業ユーザーの IoT の利用状況はどうなっているのか? またそうしたユーザーの抱えている課題とは何なのか?
- 国内 IoT 市場においてデータエコシステム/Data as a Service はどのように変化していくのか?

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

ABEJA、BMW、CTC、GE デジタル、Google、IJJ、ISID、IBM、KDDI、LINE、NEC、NTT ドコモ、OSI ソフト、PFN、PWC、PTC、SOMPO ホールディングス、ZOZO、アーム、アップル、アクセンチュア、アビームコンサルティング、アリババ、インテル、ウフル、アマゾン、エヌビディア、エプリーセンス、オブティム、オムロン、クボタ、コカ・コーラ、コニカミノルタ、さくらインターネット、シーメンス、セールスフォースドットコム、ソフトバンク、ソニー、ダイキン、大日本印刷、ディー・エヌ・エー、東芝、トレンドマイクロ、ネットアップ、日立製作所、ファーストリテイリング、ファナック、フィットビット、フィリップス、富士ゼロックス、富士通、ブリヂストン、マイクロソフト、マカフィー、ヤフー、ユビセンス、楽天、ランドログ、リクシル、その他